

「日本ワイナリーアワード 2020」にて 「シャトー・メルシャン」が最高賞となる「5つ星」を3年連続受賞

メルシャン株式会社（社長 長林道生）は、「シャトー・メルシャン」が「日本ワイナリーアワード 2020」にて、最高賞となる「5つ星」を3年連続で受賞しました。

●「日本ワイナリーアワード」について

消費者が、ワインを楽しむ一助となることを願い、優れた品質のワインを生み出すワイナリーを表彰するため、2018年より開催されているアワードです。地方区および全国区審査員が、対象となるワイナリーから評価に値するワイナリーを厳選し、全国区審査員全員で協議し決定します。2020年は、ワインショップやソムリエ、ジャーナリストなどで日本ワインの普及に努める14人のワインプロフェッショナルが審査員となり、全国約235ワイナリーを審査しました。

<概要>

- ・コンクール名 「日本ワイナリーアワード 2020」
- ・発表日時 2020年6月5日(金)15時00分
- ・ホームページ www.japan-winery-award.jp

●「シャトー・メルシャン」について

「シャトー・メルシャン」は、1877年に山梨県甲州市に設立された民間初のワイン会社の流れをくむ、日本ワインのパイオニアブランドです。「シャトー・メルシャン 勝沼ワイナリー」（山梨県甲州市）に加え、2018年には1938年から使用している建物を活かし「シャトー・メルシャン 桔梗ヶ原ワイナリー」（長野県塩尻市）をリニューアルオープン、2019年には「シャトー・メルシャン 梶子ワイナリー」（長野県上田市）を新規オープンしました。

これまで、「シャトー・メルシャン」は日本のワインとして、それぞれの産地の違いを価値のある個性として尊重し、育み、成長してきました。今後も、3つのワイナリーを中心に、産地の個性を生かしたワイン造りを展開し、さらなる品質向上を目指します。



シャトー・メルシャン 勝沼ワイナリー



シャトー・メルシャン 桔梗ヶ原ワイナリー



シャトー・メルシャン 梶子ワイナリー

キリンググループは、「食から医にわたる領域」で価値を創造し、世界のCSV[※]先進企業になることを目指しています。メルシャンは「シャトー・メルシャン」のさらなるブランド価値向上を図るとともに、原料用ブドウ産地・ワイナリー所在地の「地域社会・コミュニティ」の活性化と、「日本ワイン産業」の発展に貢献していきます。

※ Creating Shared Value の略。社会と共有できる価値の創造

メルシャン株式会社は、ワイン事業スローガン「ワインのおいしい未来をつくる。」のもと、ワインのある豊かな時間を通じて、人と人とのつながりを楽しんでいただけるよう、さまざまな提案を続けていきます。